



2020年7月31日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 旅 工 房  
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 高 山 泰 仁  
(コード番号：6548 東証マザーズ)  
問い合わせ先 執 行 役 員 岩 田 静 絵  
コーポレート本部長  
TEL. 03-5956-3044

(訂正) 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)  
の一部訂正に関するお知らせ

当社は、2020年2月10日に開示いたしました「2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(2020年7月31日)付「不正行為による過年度決算訂正および2020年3月期通期決算発表に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には\_\_\_\_を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月10日

上場会社名 株式会社旅工房 上場取引所 東  
 コード番号 6548 URL https://www.tabikobo.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 高山 泰仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 岩田 静絵 (TEL) 03(5956)3044  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	27,149	25.9	432	58.6	420	60.1	261	88.7
2019年3月期第3四半期	21,564	23.3	272	—	262	—	138	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 268百万円 (83.4%) 2019年3月期第3四半期 146百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	55.47	53.79
2019年3月期第3四半期	29.64	28.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	6,565	1,712	25.8
2019年3月期	6,856	1,373	19.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 1,696百万円 2019年3月期 1,367百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	36.7	351	5.4	342	7.6	216	13.7	46.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名) — 、除外 —社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	4,747,500株	2019年3月期	4,683,400株
2020年3月期3Q	62株	2019年3月期	62株
2020年3月期3Q	4,715,158株	2019年3月期3Q	4,676,801株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出や生産に弱さが続いているものの、雇用情勢・所得環境の改善や個人消費の持ち直しを背景に、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。

旅行業界におきましては、2019年4月から12月における日本人出国者数が前年同期比5.8%増の1,516万人\*と好調に推移いたしました。また、訪日外客数は前年同期比1.1%増の2,382万人\*と、韓国市場において日韓情勢の影響を受けた落ち込みが見られるものの、その他市場においては航空座席供給量の増加やラグビーワールドカップ2019日本大会の開催等を背景に堅調に推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループでは、引き続きオンライン商品販売とトラベル・コンシェルジュによるオーダーメイド販売を組み合わせた「ハイブリッド戦略」を推進し、サマーセールや秋の連休キャンペーン、初売り先行セール等の各種施策により好調な個人旅行需要の取込みに努めました。また雇用・業務拡大のため2019年11月5日に大阪支店を移転し、リニューアルオープンを記念したキャンペーンを実施いたしました。韓国や台湾、グアムをはじめとした「安近短」方面においては、オンライン予約システムの機能強化及び商品拡充により、前年を大きく上回る水準で推移いたしました。ヨーロッパを中心とした長距離方面につきましても、早期取込みを見据えた商品展開及び組織体制の強化により好調に推移いたしました。法人旅行事業につきましても引き続き営業体制の強化に取組んだほか、見本市や展示会等の海外視察旅行の需要拡大に伴い、海外視察旅行専用サイトを新規にオープンいたしました。

システム・マーケティング面では、業務効率化を目的として前期より一部導入しておりました新基幹システムを、レジャー部門全体へ展開いたしました。またオンライン商品の販売拡大のため、海外航空券サイト及び海外航空券＋ホテルサイトのリニューアルを行ったことに加え、スカイスクナーとの接続やエクスぺディアパートナーソリューションズの海外ホテル予約サービスとのAPI情報連携を開始しております。旅行需要の喚起及び新規顧客の獲得に向けてオウンドメディアやSNSの運用にも注力し、株式会社ミキ・ツーリストと共同でヨーロッパの現地情報を動画で発信する専門Instagramアカウント「whee TV」を開設したほか、映画配給会社と共同でイベントを開催する等、他業種とのコラボレーションによる認知拡大にも取り組ましました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は27,149,230千円（前年同期比25.9%増）、営業利益は432,204千円（前年同期比58.6%増）、経常利益は420,555千円（前年同期比60.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は261,540千円（前年同期比88.7%増）となりました。

なおセグメントの業績については、当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略いたします。

\* 2020年1月 日本政府観光局(JNTO)「2019年 訪日外客数・出国日本人数」

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,513,408千円と、前連結会計年度末比493,186千円減少しました。これは主に、現金及び預金が前連結会計年度末比514,425千円、受取手形及び売掛金が前連結会計年度末比245,071千円減少した一方で、旅行前払金が前連結会計年度末比246,181千円増加したことによるものです。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は1,051,760千円と、前連結会計年度末比201,976千円増加しました。有形固定資産が前連結会計年度末比53,296千円、無形固定資産が前連結会計年度末比109,623千円、投資その他の資産が前連結会計年度末比39,056千円増加したことによるものです。

#### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は4,782,183千円と、前連結会計年度末比630,696千円減少しました。これは主に、旅行前受金が前連結会計年度末比628,660千円、買掛金が前連結会計年度末比45,072千円、賞与引当金が前連結会計年度末比59,562千円減少した一方で、その他流動負債が前連結会計年度末比115,674千円増加したことによるものです。

## (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は70,490千円と、前連結会計年度末比675千円増加しました。これは主に、資産除去債務が前連結会計年度末比1,857千円増加した一方で、その他固定負債が前連結会計年度末比1,182千円減少したことによるものです。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,712,494千円と、前連結会計年度末比338,810千円増加しました。これは主に、利益剰余金が前連結会計年度末比261,540千円、非支配株主持分が前連結会計年度末比9,179千円増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期連結業績につきまして、第2四半期において利益額がすでに通期業績予想を上回る水準で推移しておりますが、更なる成長拡大のため、第3四半期および第4四半期において、期初計画から追加のシステム・マーケティング投資を実施しております。そのため、通期業績は概ね計画どおりに推移する見込みであることから、現時点では2019年5月13日付の「2019年3月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想は変更しておりません。

なお、上記予想は現時点で入手可能な情報および、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,689,155	3,174,730
受取手形及び売掛金	831,856	586,785
割賦売掛金	82,031	60,384
旅行前払金	1,225,114	1,471,295
その他	179,604	221,392
貸倒引当金	△1,166	△1,179
流動資産合計	6,006,595	5,513,408
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	91,031	128,453
車両運搬具(純額)	7,553	9,256
リース資産(純額)	5,041	—
その他(純額)	7,651	26,864
有形固定資産合計	111,278	164,575
無形固定資産	243,441	353,064
投資その他の資産		
長期貸付金	4,876	4,876
繰延税金資産	57,039	73,083
差入保証金	192,990	176,664
その他	245,034	284,373
貸倒引当金	△4,876	△4,876
投資その他の資産合計	495,064	534,120
固定資産合計	849,783	1,051,760
資産合計	6,856,379	6,565,169

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	774,055	728,982
短期借入金	6,512	—
リース債務	5,503	—
未払法人税等	106,758	105,699
旅行前受金	4,142,170	3,513,509
賞与引当金	122,273	62,711
その他	255,606	371,280
流動負債合計	5,412,880	4,782,183
固定負債		
資産除去債務	32,352	34,210
その他	37,462	36,280
固定負債合計	69,815	70,490
負債合計	5,482,695	4,852,674
純資産の部		
株主資本		
資本金	426,942	461,970
資本剰余金	336,942	371,970
利益剰余金	586,087	847,627
自己株式	△83	△83
株主資本合計	1,349,888	1,681,484
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	172	△170
為替換算調整勘定	17,299	15,677
その他の包括利益累計額合計	17,472	15,506
非支配株主持分	6,323	15,503
純資産合計	1,373,684	1,712,494
負債純資産合計	6,856,379	6,565,169



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	21,564,637	27,149,230
売上原価	18,764,738	23,536,916
売上総利益	2,799,898	3,612,314
販売費及び一般管理費	2,527,323	3,180,110
営業利益	272,575	432,204
営業外収益		
受取利息	37	52
受取配当金	0	0
その他	1,560	2,265
営業外収益合計	1,598	2,318
営業外費用		
支払利息	1,047	99
支払保証料	1,484	2,354
為替差損	2,973	4,256
支払手数料	3,416	4,328
その他	2,601	2,928
営業外費用合計	11,523	13,967
経常利益	262,650	420,555
特別利益		
資産除去債務戻入益	—	3,200
特別利益合計	—	3,200
特別損失		
不正関連損失	4,589	—
特別損失合計	4,589	—
税金等調整前四半期純利益	258,061	423,755
法人税、住民税及び事業税	104,721	168,855
法人税等調整額	9,967	△15,964
法人税等合計	114,689	152,890
四半期純利益	143,371	270,865
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,769	9,324
親会社株主に帰属する四半期純利益	138,601	261,540

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	<u>143,371</u>	<u>270,865</u>
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	626	△342
為替換算調整勘定	2,548	△1,767
その他の包括利益合計	<u>3,174</u>	<u>△2,110</u>
四半期包括利益	<u>146,546</u>	<u>268,754</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>141,834</u>	<u>259,574</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	4,711	9,179

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使による新株発行を行いました。また、2019年6月28日及び2019年7月17日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役、監査役及び従業員に対する譲渡制限付株式報酬として新株発行を行いました。これらの結果、資本金及び資本準備金がそれぞれ35,027千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が461,970千円、資本準備金が371,970千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(訂正前)



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月10日

上場会社名 株式会社旅工房 上場取引所 東  
 コード番号 6548 URL https://www.tabikobo.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 高山 泰仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 岩田 静絵 (TEL) 03(5956)3044  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	27,266	26.3	472	84.0	470	77.6	284	71.9
2019年3月期第3四半期	21,588	23.5	256	—	264	—	165	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 292百万円 (68.2%) 2019年3月期第3四半期 173百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	60.41	58.58
2019年3月期第3四半期	35.43	34.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	6,663	1,769	26.3
2019年3月期	6,903	1,407	20.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 1,753百万円 2019年3月期 1,401百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	36.5	351	8.6	342	2.7	216	6.1	46.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名) — 、除外 —社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	4,747,500株	2019年3月期	4,683,400株
2020年3月期3Q	62株	2019年3月期	62株
2020年3月期3Q	4,715,158株	2019年3月期3Q	4,676,801株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出や生産に弱さが続いているものの、雇用情勢・所得環境の改善や個人消費の持ち直しを背景に、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。

旅行業界におきましては、2019年4月から12月における日本人出国者数が前年同期比5.8%増の1,516万人\*と好調に推移いたしました。また、訪日外客数は前年同期比1.1%増の2,382万人\*と、韓国市場において日韓情勢の影響を受けた落ち込みが見られるものの、その他市場においては航空座席供給量の増加やラグビーワールドカップ2019日本大会の開催等を背景に堅調に推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループでは、引き続きオンライン商品販売とトラベル・コンシェルジュによるオーダーメイド販売を組み合わせた「ハイブリッド戦略」を推進し、サマーセールや秋の連休キャンペーン、初売り先行セール等の各種施策により好調な個人旅行需要の取込みに努めました。また雇用・業務拡大のため2019年11月5日に大阪支店を移転し、リニューアルオープンを記念したキャンペーンを実施いたしました。韓国や台湾、グアムをはじめとした「安近短」方面においては、オンライン予約システムの機能強化及び商品拡充により、前年を大きく上回る水準で推移いたしました。ヨーロッパを中心とした長距離方面につきましても、早期取込みを見据えた商品展開及び組織体制の強化により好調に推移いたしました。法人旅行事業につきましても引き続き営業体制の強化に取組んだほか、見本市や展示会等の海外視察旅行の需要拡大に伴い、海外視察旅行専用サイトを新規にオープンいたしました。

システム・マーケティング面では、業務効率化を目的として前期より一部導入しておりました新基幹システムを、レジャー部門全体へ展開いたしました。またオンライン商品の販売拡大のため、海外航空券サイト及び海外航空券＋ホテルサイトのリニューアルを行ったことに加え、スカイスクナーとの接続やエクスぺディアパートナーソリューションズの海外ホテル予約サービスとのAPI情報連携を開始しております。旅行需要の喚起及び新規顧客の獲得に向けてオウンドメディアやSNSの運用にも注力し、株式会社ミキ・ツーリストと共同でヨーロッパの現地情報を動画で発信する専門Instagramアカウント「whee TV」を開設したほか、映画配給会社と共同でイベントを開催する等、他業種とのコラボレーションによる認知拡大にも取り組ましました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は27,266,279千円（前年同期比26.3%増）、営業利益は472,262千円（前年同期比84.0%増）、経常利益は470,641千円（前年同期比77.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は284,846千円（前年同期比71.9%増）となりました。

なおセグメントの業績については、当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略いたします。

\* 2020年1月 日本政府観光局(JNTO)「2019年 訪日外客数・出国日本人数」

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,611,096千円と、前連結会計年度末比442,194千円減少しました。これは主に、現金及び預金が前連結会計年度末比514,425千円、受取手形及び売掛金が前連結会計年度末比190,451千円減少した一方で、旅行前払金が前連結会計年度末比246,181千円増加したことによるものです。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は1,052,341千円と、前連結会計年度末比201,976千円増加しました。これは主に、有形固定資産が前連結会計年度末比53,296千円、無形固定資産が前連結会計年度末比109,623千円、投資その他の資産が前連結会計年度末比39,056千円増加したことによるものです。

#### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は4,823,445千円と、前連結会計年度末比603,009千円減少しました。これは主に、旅行前受金が前連結会計年度末比628,239千円、買掛金が前連結会計年度末比47,062千円、賞与引当金が前連結会計年度末比59,562千円減少した一方で、その他流動負債が前連結会計年度末比118,148千円増加したことによるものです。

## (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は70,490千円と、前連結会計年度末比675千円増加しました。これは主に、資産除去債務が前連結会計年度末比1,857千円増加した一方で、その他固定負債が前連結会計年度末比1,182千円減少したことによるものです。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,769,500千円と、前連結会計年度末比362,116千円増加しました。これは主に、利益剰余金が前連結会計年度末比284,846千円、非支配株主持分が前連結会計年度末比9,179千円増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期連結業績につきまして、第2四半期において利益額がすでに通期業績予想を上回る水準で推移しておりますが、更なる成長拡大のため、第3四半期および第4四半期において、期初計画から追加のシステム・マーケティング投資を実施しております。そのため、通期業績は概ね計画どおりに推移する見込みであることから、現時点では2019年5月13日付の「2019年3月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想は変更しておりません。

なお、上記予想は現時点で入手可能な情報および、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。



## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,689,155	3,174,730
受取手形及び売掛金	879,000	688,549
割賦売掛金	82,031	60,384
旅行前払金	1,225,114	1,471,295
その他	179,155	217,315
貸倒引当金	△1,166	△1,179
流動資産合計	6,053,290	5,611,096
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	91,031	128,453
車両運搬具(純額)	7,553	9,256
リース資産(純額)	5,041	—
その他(純額)	7,651	26,864
有形固定資産合計	111,278	164,575
無形固定資産	243,441	353,064
投資その他の資産		
長期貸付金	4,876	4,876
繰延税金資産	57,620	73,664
差入保証金	192,990	176,664
その他	245,034	284,373
貸倒引当金	△4,876	△4,876
投資その他の資産合計	495,645	534,701
固定資産合計	850,364	1,052,341
資産合計	6,903,655	6,663,437

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	775,179	728,117
短期借入金	6,512	—
リース債務	5,503	—
未払法人税等	120,215	145,937
旅行前受金	4,141,466	3,513,226
賞与引当金	122,273	62,711
その他	255,304	373,453
流動負債合計	5,426,455	4,823,445
固定負債		
資産除去債務	32,352	34,210
その他	37,462	36,280
固定負債合計	69,815	70,490
負債合計	5,496,271	4,893,936
純資産の部		
株主資本		
資本金	426,942	461,970
資本剰余金	336,942	371,970
利益剰余金	619,787	904,633
自己株式	△83	△83
株主資本合計	1,383,589	1,738,490
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	172	△170
為替換算調整勘定	17,299	15,677
その他の包括利益累計額合計	17,472	15,506
非支配株主持分	6,323	15,503
純資産合計	1,407,384	1,769,500
負債純資産合計	6,903,655	6,663,437

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	21,588,736	27,266,279
売上原価	18,803,417	23,615,561
売上総利益	2,785,319	3,650,717
販売費及び一般管理費	2,528,610	3,178,455
営業利益	256,709	472,262
営業外収益		
受取利息	37	52
受取配当金	0	0
為替差益	15,198	5,771
その他	1,560	2,265
営業外収益合計	16,797	8,090
営業外費用		
支払利息	1,047	99
支払保証料	1,484	2,354
支払手数料	3,416	4,328
その他	2,601	2,928
営業外費用合計	8,549	9,711
経常利益	264,956	470,641
特別利益		
資産除去債務戻入益	—	3,200
特別利益合計	—	3,200
税金等調整前四半期純利益	264,956	473,842
法人税、住民税及び事業税	84,497	195,636
法人税等調整額	9,967	△15,964
法人税等合計	94,465	179,671
四半期純利益	170,491	294,170
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,769	9,324
親会社株主に帰属する四半期純利益	165,721	284,846

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	<u>170,491</u>	<u>294,170</u>
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	626	△342
為替換算調整勘定	2,548	△1,767
その他の包括利益合計	<u>3,174</u>	<u>△2,110</u>
四半期包括利益	<u>173,665</u>	<u>292,060</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>168,954</u>	<u>282,880</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	4,711	9,179

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使による新株発行を行いました。また、2019年6月28日及び2019年7月17日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役、監査役及び従業員に対する譲渡制限付株式報酬として新株発行を行いました。これらの結果、資本金及び資本準備金がそれぞれ35,027千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が461,970千円、資本準備金が371,970千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。